

令和元年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【舞鶴市立白糸中学校】

1 実践テーマ	【I・II・V】
2 実施対象者	舞鶴市立白糸中学校 全校生徒・教師 人数：500名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合 ） ② 行事名（ オリンピック・パラリンピック講演会 ） ③ その他（ 部活動交流 ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	オリンピックからの講演を通して、東京オリンピック・パラリンピックに向けて興味関心を持つとともに、病気を抱えながらも世界で活躍されていた経験を聞き、スポーツの楽しさや、困難に立ち向かう勇気、支えてくれる人々への感謝を感じとり、自分の人生について考えるきっかけにする。
5 取組内容	オリンピック・パラリンピック講演会 (1) 日 時：令和元年12月13日（金） 10:50～12:30 (2) 講演会：西山 麗 氏（元ソフトボール日本代表） オリンピック北京大会 金メダル (3) 講演内容：①自己紹介 ②病気の中で支えてくれた家族 ③心臓の大手術からソフトボール漬けの毎日へ ④日本代表として共に戦った仲間との絆 ⑤質疑応答 部活動交流 (1) 日 時：令和元年12月13日（金） 14:00～16:00 (2) 講 師：西山 麗 氏（元ソフトボール日本代表） (3) 内 容：ソフトボール部との部活動交流

	
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) オリンピアンの実体験に基づいたエピソードを聞き、東京オリンピック・パラリンピックを身近に感じることができた。 (2) 生まれつき心臓に病気を抱えながらオリンピックに参加された方の話を直接伺うことで、その生活の大変さや当たり前のことができない苦しみを知ることができたとともに、支えてくれる周囲の存在について考えることができた。 (3) 部活動交流を通して、生徒がオリンピックから直接指導を受ける機会となった。練習のポイントごとに経験談を交えた指導を受け、チームプレーの大切さについて考える機会になった。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 講師の特色を生かして、講演内容をオリンピック・パラリンピックに向けた啓発の意味だけでなく、生きることの大切さを考える機会になるよう調整、工夫した。 (2) 講演だけでなく、部活動交流を実施した。スポーツによる身体表現的交流を行うことで、多面的にオリンピックとの交流が実現できた。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 講演会を企画した場合、講演までに打ち合わせを行ったとしても、当日は全て任せることになるため、内容は講師の力量に頼るところが大きい。また、限られた予算内で求めるニーズのオリンピックを探ることが難しい。 (2) 年間通じた継続的なオリンピック教育を進めるためには、授業の兼ね合いにより時間数確保が難しく、どうしても単発のイベントになってしまう。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>2020 年東京オリンピック・パラリンピックを迎えた後も予算配分があるならば、今回のような講師を呼んでの講演会が実施可能だが、予算的に難しい場合は形式を変えたオリンピック教育を模索していく。</p>